

会 議 録

1 会議名	第5期南砺市協働のまちづくり推進会議 第4回全体会
2 議題	<p>(1) 市からの話題提起 南砺市協働のまちづくり推進会議のこれまでの運営及び今後の課題 ○まちづくりの推進 ○提言に関する検証及び見直し ○小規模多機能自治の推進 ○広報・教育</p> <p>(2) グループディスカッション（ワールドカフェ形式）</p> <p>(3) 全体発表（各3分×3グループ）</p>
3 開催日時	令和4年12月20日（火） 開会時間：午後5時／閉会時間：午後7時
4 開催場所	いなみ木彫りの里創遊館（道の駅井波） 和室
5 出席者	<p>[委員：全20名] ※50音順、敬称略 出席：荒木 信人、磯辺 文雄、江田 攻、長田 正勝、齊藤 優華、 坂本 博昭、佐竹 弘昭、能登 貴史、林 則雄、南 眞司、 藪 英雄 欠席：上坂 紀子、俵 圭子、嶋田 早苗、竹部 俊恵、塚八 栄治、 中山 明美、長谷川 邦子、松本 久介、渡辺 洋子</p> <p>[市：出席3名] 事務局 南砺で暮らしません課長 船藤 統嗣 南砺で暮らしません課 協働のまちづくり係長 山下 真人 " " 主事 得能 基史</p>
6 傍聴者	0名

林委員長より開会あいさつ

本日はお集まりいただきありがとうございます。第2回と第3回は講演会として、まちづくり基本条例の成り立ちや現在のまちづくり団体について学びを深めてきました。今回はそれらの学びを踏まえて、推進会議において具体的にどのような議論をしたいかを話し合っただけであればと思います。よろしくお願いいたします。

(1) 市からの話題提起

南砺市協働のまちづくり推進会議のこれまでの運営及び今後の課題

○まちづくりの推進

- ・市民参画、情報公開の推進

○提言に関する検証及び見直し

○小規模多機能自治の推進

- ・南砺市まちづくり基本条例第7条の遵守

○広報・教育

- ・まちづくり基本条例や協働のまちづくりの周知及び学ぶ機会の創出

(2) グループディスカッション（ワールドカフェ形式）

(3) 全体発表（各グループの主な議論や話題）

7 会議録

Aグループ

テーマ：市民参画、情報公開

- ・まちづくりに女性や若者の参加が少ない。
- ・南砺市協働のまちづくり推進会議は市長への提言を目標としているが市長からの諮問があれば活動や議論をしやすい。ただ、市長としては自由に議論してほしいという思いもあるだろうと思う。
- ・協働には、事業者の参加も必要だと思う。入札の方法なども提言したい。
- ・市が実証実験を行う際、公開情報が少ない。目的や結果を公表してほしい。ルールに従っているが、目的に沿っていないと思う。
- ・地域づくり協議会の情報公開は適切か。
- ・市民会議で市民を巻き込んで欲しい。
- ・政策段階では市民の声を聴いてほしい。
- ・情報公開で無関心を解消したい。

Bグループ

テーマ：提言、広報・教育

- ・広報というテーマから、町内会と地域づくり協議会の連携へと話が進展した。
- ・困りごとは地域づくり協議会や町内会だけではなく、いろいろな団体で相談されるので、それらの団体をつなぐ仕組み作りが大切である。
- ・広報についても、地域づくり協議会や小規模多機能自治を伝えるのではなく、困りごとの相談窓口という役割の部分を広報するべきだと思う
- ・大人に伝えられないことは子どもにも伝えられない
- ・地域づくり協議会の運営ガイドラインを作ることが重要である
- ・広報により無関心の解消へつなげたい

Cグループ

テーマ：小規模多機能自治

- ・地域づくり協議会の適切な規模について
- ・地域づくり協議会役員の選任の仕方について
- ・地域づくり協議会の運営ガイドラインについて、全体と各協議会両方で作成すべきではないか。
- ・小規模多機能自治市民会議の際のように、地域づくり協議会情報交換会は旧町村ではなく山村地区と山間部のように特定で分けて話し合うべきではないか
- ・住民自治に対する理解が進んでいない

齊藤副委員長より閉会あいさつ

いろいろな方の意見を聞くことができ、有意義な会議でした。グループ分けすることで、小規模ならではの内容の濃い意見交換ができました。今後の方向性についても改めて考えて、推進会議のみんなで検討を進めていければと思います。